

福祉懇談会（新関地区） 日時：令和4年9月15日（木）10：00～11：30 会場：新関コミュニティセンター	出席者
	新関コミ協：渡辺会長、長谷川副会長、山崎会計、松田児童クラブ運営部長、松屋構成員 秋葉区社協：横山事務局長補佐、佐藤地区担当、宮腰 SC

課題	取り組み	備考
<p>○自治会によって行事など取り組みに温度差がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会長が2年任期で交代のため継続しにくい。 （R4:2自治会、R5:6自治会が交代） →自治会活動に長年携わって活動している自治会は良いが、短期間で交代される自治会は難しい。 →取り組み方など悩んでいる自治会には、やり方など支援してもらえないか。 →防災について声掛けはコミ協が担当。各自治会は自主防災が担当しているため対応が異なる。 <p>○後継者不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年の延長及び定年後も働いている人が多い。 ・若い人がいない。 →仕方なく役員を引き受ける。 <p>○コロナ禍で行事が中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が集まる機会がなくなり、関係性の希薄化が進んでいる。 ・サロンの再開も難しい。 	<p>○防災事業について(6月実施済)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿賀野川が氾濫した時の水位が、ハザードマップでは分かりにくかったため、電柱等に氾濫時の水位表示板を設置した。 （高齢者がハザードマップを理解することが難しい面がある） ・6/15 三者(小学校・保育園・コミ協)合同避難訓練の実施及びコミ協・小学校の備蓄品を確認 ・6/26 新関防災の日(各自治会とコミ協で連携した取り組み) →各自治会で安否確認を行いコミ協へ報告 訓練の内容は各自治会に一任 六郷コミセンへの避難訓練実施(30名参加) 要支援者の見守り(1人に対して3人に対応) 行政の名簿+地域の名簿で対応している 小口要支援者の担当が決まっている 行政の名簿を基に自治会で本人から承諾を得て名簿を作成している。訓練時に顔合わせを実施 市新・下新担当者制等取り組みなし 	<p>コミ協・地区社協 自治会町内会</p>

課題	取り組み	備考
	<p>○防災事業について来年度に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会への意識づくり。 ・自治会判断のためのマニュアルが必要ではないか検討する →防災訓練後に自治会同士の交流会・勉強会を検討する。 研修会で防災意識の醸成を図る。 自治会間の温度差の減少を図る。 	<p>コミ協・地区社協 自治会町内会</p>
	<p>○コミ協行事再開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/15-16 新関ふれあい祭り・作品展開催予定 昨年はコロナ禍で作品展のみの開催だったが、地域からふれあいまつりも再開してほしいと要望があり、今年は再開予定。 →地域がつながる機会を増やす。 <p>○茶の間・サロンの開催状況及び自治会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 六郷・市新 継続して開催中 下新 休止中 岡田 サロンの立ち上げを働きかけたが、行っていない。 →地域行事があり参加者も多い。また、サロンがなくても住民同士の交流がある。 新関 老人クラブの活動があり、その一つにサロンがある。 <p>○自治会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 六郷 子ども農園を開催(月数回) →子どもと老人クラブで畑を作り野菜を育てている。 子どもの親の参加もあり、多世代の交流の場となっている。 小口 住民が集まる機会を作る(グランドゴルフなど) 	<p>コミ協・地区社協 自治会町内会</p>

